

令和4年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	水道課	室・部・局	基盤整備部	予算事業コード
-----	-----	-------	-------	---------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	配水管布設等自費工事補助金			補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	②支出の根拠 関市配水管布設助成金交付要綱				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
					(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	③支出先 個人住宅において、水道を新たに使用するため配水管を自費で布設した居住者				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
					(5)個人に対する補助金・負担金		
	④国・県の負担				○なし	国の負担あり	負担割合
県の負担あり				負担割合	負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	市民		に対して			
	手段	配水管を自費で布設した費用の一部補助		を行うことで			
	受益者	個人住宅において、水道を新たに使用するため配水管を自費で布設した居住者		が(を)			
	意図	配水管布設費用の負担を軽減される		という状態にする			
⑥期間	R4年4月1日～R5年3月31日			補助・負担開始年度	平成	28	年度
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体		○ その他 (非該当)		
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり		負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	R2決算	R3決算	R4決算	R5予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	150	324	276	1,000	○ 単価を定めている→算式	配水管口径50mmの場合3千円/㎡ ほか(上限50㎡)
					定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況	なし					
③支出先の決算の状況	R4歳入決算額	千円	R4歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R4歳入に占める補助・負担金の割合		%	○ 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題	
①妥当性	補助・負担することが適切か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	適当である
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している(申請時関係書類)	適正である
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	個人における配水管布設費用の負担が軽減されることから、有効であると考えている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	申請期間の設定(現状完成検査の日から2年以内)		